

こんな声がありました！

届いた苗が枯れていた。「宿根草(しゅっこんそう)のお話」



CO-OP



生協で注文した花の苗が届いたよ。



これから育てるの楽しみだね。



玄関に置いてあるから確認してみて！



あれっ？
枯れてるみたいだよ…。



それは休眠期の宿根草の苗かもしれないな。

草花には生育して花が咲いて1年で枯れるもの(1年草)と、翌年以降も生育し繰り返し花を咲かせるもの(多年草)があります。多年草の中でも、休眠期があり、根は生きていても地上部分が枯れるものは**宿根草と呼ばれています**。宿根草には、シバザクラ、クリスマスローズ、エキナセアなど様々な品種があります。生協の宅配では休眠期にお届けしている苗もあります。

POINT すぐ開封しましょう！

お届けまでの間、植物を守るために箱に入れていますが、梱包されたままの状態でおくと傷んでしまいます。植物は生きていますので、宿根草に限らず、**お届け後はすぐに開封して、栽培説明書を確認しましょう。内容に沿って植え付けをしてください。**植え付け後は必要に応じて水やりも忘れずにしましょう。

〈宿根草の取り扱いについて〉

- ◎商品到着後、苗を確認しましょう。
- ◎お届け時は、冬枯れの状態のお届けの株もありますが、問題ございません。暖かくなると新芽を出し、生育を始めます。
- ◎口に入れて食べたりしないで下さい。
- ◎**お届け後、すぐに植え付けをして下さい。**

栽培説明書の一例

豆知識

お届け見本を確認しよう！

宿根草や落葉樹などは届いたときに苗が枯れていたり、葉が落ちていたりすると驚いてしまいます。そのため、生協のチラシでは育った時のイメージとあわせて、お届けする際の見本を参考に掲載していることがあります。



お届け見本と生育後のイメージ

これから
きれいな花が
咲くといいな～。

